

TOPPAN FORMS INTERIM REPORT

第52期

中間事業報告書

平成17年4月1日～平成17年9月30日

証券コード7862

TOPPAN FORMS

新たな市場の創出に取り組み、競争優位性を高めるとともに、 事業構造改革により企業体質の強化を図ってまいります。

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、第52期中間期(平成17年4月1日～平成17年9月30日)における事業の概況についてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、海外経済の拡大と企業収益の改善を背景とした設備投資の増加や、雇用情勢の持ち直しを反映した個人消費の拡大など、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

ビジネスフォーム業界におきましては、企業のシステム統廃合やネットワーク化による需要量の減少と、仕様の変更による価格見直しなどはあるものの、個人情報保護法の施行に伴う需要量の増加などにより、全体としては概ね前年並みで推移しました。

このような状況のなかで当社グループは、固有技術の活用による機能の高度化や複合化などにより製品の差別化をはかるとともに、システムや企画分野において顧客の課題解決に向けた新たなサービス分野を強化いたしました。また、新規事業の営業強化をはかるとともに、顧客密着度を高めて市場の創出に取り組み、競争の優位性を高めました。さらに、工場の再編により生産・品質管理体制の一層の充実とコスト管理の徹底をはかり、業績向上につとめました。

ビジネスフォーム分野では、プライバシー保護やセキュリティ強化のニーズに対応したラベルや各種フォーム、販売促進

用の申込書、環境面に配慮した省資源型物流フォームなど市場ニーズに対応した製品の販売に注力いたしました。

DPS分野では、金融機関をはじめとする総合通知業務やプリント業務の一括アウトソーシング受託に対応した生産体制の効率化を推進いたしました。また、ダイレクトメール市場が拡大するなか、小ロット多品種のオンデマンドパンフレットや、フルカラーのパーソナルダイレクトメールなどの販売につとめました。

電子メディア分野では、個人情報保護法施行に伴う情報セキュリティ強化のニーズをとらえ、個人認証用ICカードや関連システムを積極的に拡販いたしました。また、マイクロソフト社との協業の一環として、ICタグ(RFID)を活用したシステムを構築する企業に対し、システム検証や開発者教育などを提供する施設(RDSC)をトッパンフォームズビルに開設するなど、RFIDシステムの普及に注力してまいりました。

経営課題のひとつである企業の社会的責任(CSR)を果たすための取り組みといたしましては、法令の遵守はもとより、企業倫理を高める活動を推進してまいりました。特に、個人情報保護法の施行をふまえ、顧客からの信頼を揺るぎないものとするため、セキュリティポリシーに基づいた情報管理体制を強化してまいりました。

環境問題への対応につきましては、環境マネジメントシステム(EMS)の定着化を推進するとともに、エコロジー製品

の開発・提供や機密書類等の回収・リサイクル処理サービスなどとおして環境保全に貢献してまいりました。

以上の結果、当中間期の連結売上高は1,034億円と前年同期に比べ63億円(前年同期比6.5%)増加いたしました。また、経常利益は81億円と前年同期に比べ13億円(同19.0%)増加し、中間純利益は6億円(同16.7%)増の44億円となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株につき11円50銭とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、過剰設備・過剰債務などの構造的圧力が概ね払拭され、企業業績の回復や国内外の需要拡大など、市場の先行きに明るさが見られるものの、不安定な国際情勢や原油価格の高騰による素材価格の上昇が懸念され、予断を許さない経営環境が続くものと予想されます。

フォーム業界におきましても、ネットワーク化による紙媒体から電子媒体への需要構造の変化や、競争の激化などにより引き続き市場環境は厳しいものと考えられます。

このようななか、当社グループは、顧客密着度の強化と新規顧客の開拓によるシェアの拡大や新商品・新サービスによる市場の創造をはかるとともに、事業構造改革により企業体質を強化し、業績向上につとめてまいり所存でございます。



株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月

代表取締役社長

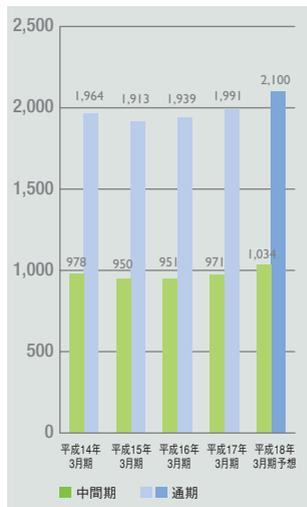
秋山正法

企画提案型営業活動の推進による事業領域の拡大と 事業活動全般にわたる効率化・合理化の徹底により、 増収増益を達成することができました。

ビジネスフォームおよびデータ・プリント・サービス(DPS)などの紙媒体を核として、先端技術を活用した情報ソリューションサービスや新分野の研究開発と販売を強化し、情報管理の総合的サービス体制の充実につとめました。また、関連グループ各社の総合力を結集して企画提案型の販売活動を展開するとともに、工場の再編により生産効率の向上と品質管理体制の充実はかりました。

以上の結果、当中間期の連結売上高は前年同期に比べ6.5%増の1,034億円となり、純利益は16.7%増の44億円となりました。

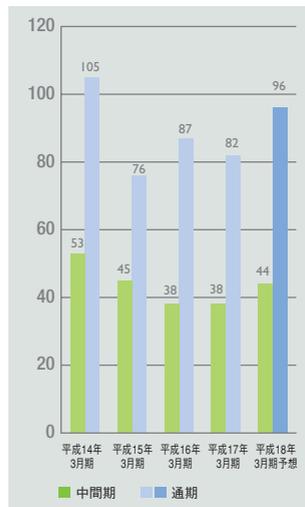
売上高
(単位:億円)



経常利益
(単位:億円)



当期純利益
(単位:億円)



印刷事業

売上高806億円(前年同期比6.4%増)

ビジネスフォームでは、販売競争の激化や企業のシステム統廃合、仕様変更による価格見直しがあったものの、プライバシー保護やセキュリティ強化のニーズに対応したラベルや各種フォーム、販売促進用の申込書、環境面に配慮した省資源型物流フォームなどが増加し堅調に推移いたしました。

DPSでは、金融機関をはじめとする総合通知業務やプリント業務の一括アウトソーシング、小ロット多品種のオンデマンドパンフレットやフルカラーのパーソナルダイレクトメールなどの寄与もあり、好調に推移いたしました。

その他事業

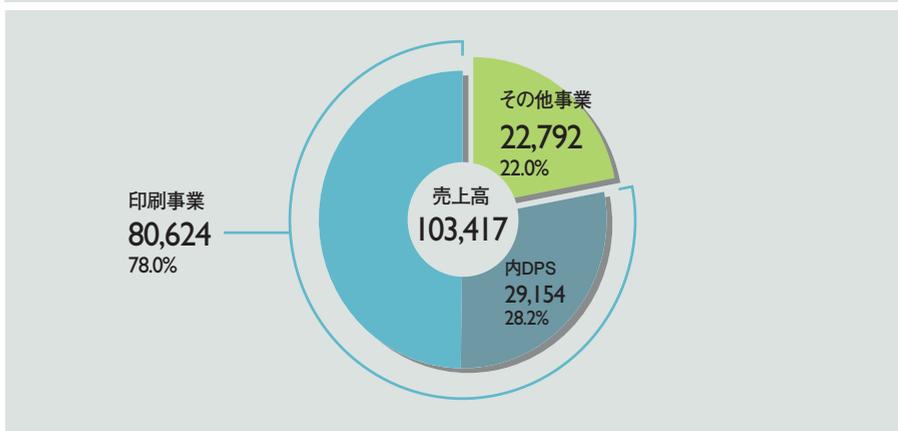
売上高227億円(前年同期比7.0%増)

事務用サプライ品は、セキュリティ関連商品やプリンター周辺の消耗品、文具など取扱品種の拡充と、インターネット活用による販路拡大により好調に推移いたしました。

また、事務機器関連等につきましても、景気回復に伴う更新需要の回復、セキュリティ強化用機材の導入が進み好調に推移いたしました。

以上の結果、その他事業全体では好調に推移いたしました。

売上高部門別構成比
(単位:百万円)



中間連結決算報告

中間連結貸借対照表(単位:百万円)

	当中間期 平成17年9月30日現在	前中間期 平成16年9月30日現在		当中間期 平成17年9月30日現在	前中間期 平成16年9月30日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	90,316	81,796	流動負債	49,015	47,751
現金及び預金	27,401	23,353	支払手形及び買掛金	32,230	30,858
受取手形及び売掛金	39,721	37,039	短期借入金	1,449	1,739
有価証券	3,440	3,440	未払法人税等	3,686	3,345
たな卸資産	14,021	12,886	未払消費税等	563	641
前払費用	1,689	1,608	未払費用	3,444	3,162
繰延税金資産	2,171	2,049	賞与引当金	3,739	3,886
その他	2,046	1,621	設備関係支払手形	1,507	1,581
貸倒引当金	△176	△201	その他	2,393	2,534
固定資産	82,549	79,012	固定負債	5,324	3,027
有形固定資産	56,585	57,872	長期借入金	107	22
建物及び構築物	23,258	24,425	繰延税金負債	1,759	206
機械装置及び運搬具	12,956	12,820	退職給付引当金	2,941	2,312
工具器具備品	1,509	1,578	役員退職慰労引当金	434	387
土地	18,219	18,160	その他	81	99
建設仮勘定	640	887	負債合計	54,340	50,779
無形固定資産	1,313	1,379	少数株主持分	107	107
借地権その他	1,313	1,379			
投資その他の資産	24,650	19,760	資本の部		
投資有価証券	16,365	11,287	資本金	11,750	11,750
長期貸付金	6	4	資本剰余金	9,270	9,270
長期前払費用	85	129	利益剰余金	95,574	89,401
敷金・保証金	2,372	2,150	その他有価証券評価差額金	4,360	1,836
保険積立金	4,040	4,121	為替換算調整勘定	△675	△728
繰延税金資産	897	914	自己株式	△1,861	△1,606
その他	953	1,214	資本合計	118,417	109,922
貸倒引当金	△70	△62			
資産合計	172,866	160,809	負債、少数株主持分及び資本合計	172,866	160,809

中間連結損益計算書(単位:百万円)

中間連結キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

	当中間期	前中間期
	平成17年4月1日～ 平成17年9月30日	平成16年4月1日～ 平成16年9月30日
売上高	103,417	97,116
売上原価	78,108	73,491
売上総利益	25,308	23,625
販売費及び一般管理費	17,545	17,214
営業利益	7,763	6,411
営業外収益	494	509
受取利息	18	1
受取配当金	116	90
積立保険返戻金	27	11
持分法による投資利益	42	27
特許料収入	206	236
その他	84	142
営業外費用	96	63
支払利息	29	15
貸倒引当金繰入額	—	5
為替差損	20	2
事故関係費	20	27
その他	25	11
経常利益	8,161	6,857
特別利益	21	46
固定資産売却益	6	27
投資有価証券売却益	—	13
会員権売却益	15	—
その他	0	4
特別損失	309	174
固定資産除却損	49	69
投資有価証券評価損	221	51
投資有価証券売却損	37	—
会員権評価損	—	41
その他	0	10
税金等調整前中間純利益	7,873	6,729
法人税、住民税及び事業税	3,702	3,292
法人税等調整額	△291	△383
少数株主利益	5	1
中間純利益	4,456	3,818

	当中間期	前中間期
	平成17年4月1日～ 平成17年9月30日	平成16年4月1日～ 平成16年9月30日
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,978	5,430
税金等調整前中間純利益	7,873	6,729
減価償却費	2,325	2,392
法人税等の支払額	△3,655	△3,373
その他	△3,564	△318
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,639	△1,613
有形固定資産取得による支出	△1,030	△1,948
その他	△609	334
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,901	△932
配当金支払額	△1,311	△1,313
その他	△589	381
IV. 現金及び現金同等物に係る 換算差額	12	1
V. 現金及び現金同等物の 増加額(△減少額)	△550	2,885
VI. 現金及び現金同等物の 期首残高	31,391	23,908
VII. 連結会社増加による現金 及び現金同等物の増加額	0	—
VIII. 現金及び現金同等物の 中間期末残高	30,841	26,793

主な子会社

トッパン・フォームズ東海(株)	ビジネスフォームの製造
トッパン・フォームズ関西(株)	ビジネスフォームの製造
トッパン・フォームズ西日本(株)	ビジネスフォームの製造
トッパン・フォームズ・オペレーション(株)	プログラミングおよびオペレーションの受託
トッパン・フォームプロセス(株)	フォーム処理の受託サービス
テクノ・トッパン・フォームズ(株)	コンピュータおよび関連機器の保守サービス
トッパン・フォームズ・サービス(株)	運送取扱業および倉庫業
T. F. カンパニー社	海外事業に対する投資および育成
トッパン・フォームズ(香港)社	ビジネスフォームの製造および販売

●連結対象子会社は上記9社を含む21社、持分法適用関連会社は9社となっております。

中間単体決算報告

中間貸借対照表(単位:百万円)

	当中間期 平成17年9月30日現在	前中間期 平成16年9月30日現在		当中間期 平成17年9月30日現在	前中間期 平成16年9月30日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	83,380	75,156	流動負債	43,334	42,188
現金及び預金	24,626	21,710	支払手形	8,418	8,239
受取手形	6,130	5,495	買掛金	25,939	23,821
売掛金	31,717	29,617	未払法人税等	2,967	2,803
有価証券	3,440	3,440	未払費用	1,798	2,077
たな卸資産	11,018	10,815	賞与引当金	1,891	2,163
繰延税金資産	1,141	1,196	その他	2,318	3,082
その他	5,379	2,980			
貸倒引当金	△73	△99	固定負債	3,095	1,124
			役員退職慰労引当金	334	282
固定資産	80,014	76,703	退職給付引当金	1,227	841
有形固定資産	54,379	55,598	繰延税金負債	1,534	—
建物	21,622	22,720			
機械及び装置	12,237	12,078	負債合計	46,430	43,312
土地	18,162	18,103			
建設仮勘定	640	880	資本の部		
その他	1,716	1,816	資本金	11,750	11,750
無形固定資産	1,245	1,326	資本剰余金	9,270	9,270
投資その他の資産	24,389	19,777	資本準備金	9,270	9,270
投資有価証券	15,818	10,913	利益剰余金	93,446	87,300
繰延税金資産	—	70	利益準備金	2,619	2,619
その他	8,641	8,856	任意積立金	84,195	78,195
貸倒引当金	△70	△62	中間未処分利益	6,631	6,485
			その他有価証券評価差額金	4,359	1,833
			自己株式	△1,861	△1,606
			資本合計	116,965	108,547
資産合計	163,395	151,859	負債・資本合計	163,395	151,859

中間損益計算書(単位:百万円)

	当中間期 平成17年4月1日～ 平成17年9月30日	前中間期 平成16年4月1日～ 平成16年9月30日
売上高	97,460	91,381
売上原価	74,490	69,563
売上総利益	22,970	21,817
販売費及び一般管理費	16,604	16,212
営業利益	6,366	5,604
営業外収益	2,692	2,570
受取利息及び配当金	1,364	1,330
設備賃貸料	1,003	887
その他	324	352
営業外費用	969	862
賃貸費用	922	815
その他	47	46
経常利益	8,088	7,312
特別利益	15	10
特別損失	387	167
固定資産除却損	47	64
投資有価証券評価損	221	51
会員権評価損	—	41
関係会社株式売却損	117	—
その他	0	10
税引前中間純利益	7,716	7,155
法人税、住民税及び事業税	2,990	2,770
法人税等調整額	△155	△220
中間純利益	4,881	4,605
前期繰越利益	1,749	1,894
自己株式処分差損	—	14
中間未処分利益	6,631	6,485

売上高
(単位:億円)



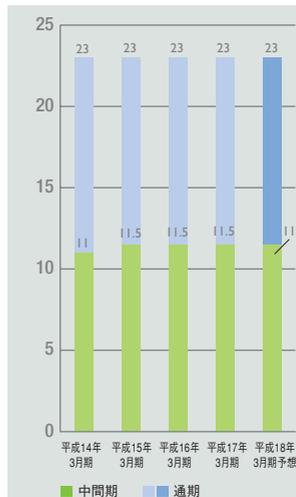
経常利益
(単位:億円)



当期純利益
(単位:億円)



1株当たり配当金
(単位:円)



1. 十八代目中村勘三郎襲名 記念グッズ



オーディオペーパーが、十八代目中村勘三郎襲名記念限定グッズに採用されました。日本の伝統芸能である歌舞伎と、最新のIT技術が結びついて誕生した、音声付の現代版「役者絵」ともいえます。厚さ0.75ミリメートルのハガキサイズながら、十八代目中村勘三郎の肉声を耳から30センチメートル離れた位置からでも聞くことができる音量が自慢です。今後も製品の特徴を活かし、用途開発を推進してまいります。

2. 産業用インクジェットプリン トシステム「IJ12000」を 発売



当社は、キャノンファインテック社製のプリントエンジンを組み込んだ、産業用インクジェットプリントシステム「IJ12000」を開発し、大口需要家やDM受託業に向けて販売を開始しました。開発にあたっては、永年にわたり培ってきたDPS（データ・プリント・サービス）のノウハウを投入し、製造現場で生産効率が良い完成度の高いシステムになっています。既存製品に比較して解像度が2倍で、厚みのある封筒にも安定的に印字ができます。

3. Windowsで動作するRFID の総合施設を開設、 日本ベリサインと提携し EPCグローバルにも対応



当社はマイクロソフト社と共同で、ICタグ（RFID）とIT市場の融合をリアルに体験できる施設（RDSC）を、トッパンフォームズビル内に開設しました。RDSCの機能には、RFIDを実際に体験していただくショールームの役割があり、システム構築に必要な人材の教育、各機材との接続検証などがおこなえます。また、EPCグローバル*にも積極的に対応するため、日本ベリサインとも提携いたしました。

*EPCグローバル：EPC（Electronic Product Code）は、RFIDを利用した世界標準コード体系の一つで、それを推進している団体。

会社概要

平成17年9月30日現在

商号	トッパン・フォームズ株式会社
英文名	TOPPAN FORMS CO., LTD.
本店所在地	東京都港区東新橋一丁目7番3号
電話	(03)6253-6000(ダイヤルイン案内)
設立	昭和30年5月2日
資本金	117億5,000万円
発行済株式総数	115,000,000株
従業員数	2,205名

大株主

平成17年9月30日現在

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
凸版印刷株式会社	67,419	58.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,459	3.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,745	2.4
トッパンフォームズグループ従業員持株会	1,876	1.6
資産管理サービス信託銀行株式会社	1,677	1.5
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	1,499	1.3
メロンバンクエヌエーアズエーエージェントフォーイツツ クライアントメロンオムニバスユーエスベンション	1,395	1.2
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・ インターナショナル・リミテッド	1,349	1.2
エイチエスピーシーバンクピ埃尔シー クライアントユーザータツクストリートイー	1,330	1.2
ザ チェースマンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	1,148	1.0

役員

平成17年9月30日現在

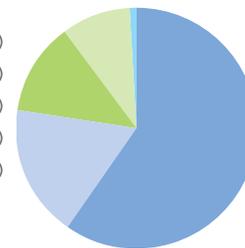
代表取締役会長	福田 泰 弘	取 締 役	松本賢次郎
代表取締役社長	秋山正法	取 締 役	新田健二
専務取締役	小山内鏗爾	取 締 役	大坪尚義
専務取締役	杉 丈 夫	取 締 役	宇高恵一
常務取締役	加藤計夫	取 締 役	加藤栄司
常務取締役	河野通剛	常任監査役(常勤)	山本龍雄
常務取締役	岡田弘人	監査役(常勤)	寺田幸夫
取 締 役	足立直樹	監 査 役	佐久間国雄
取 締 役	元原利文	監 査 役	外山 孟

株式分布状況・株価の推移

平成17年9月30日現在

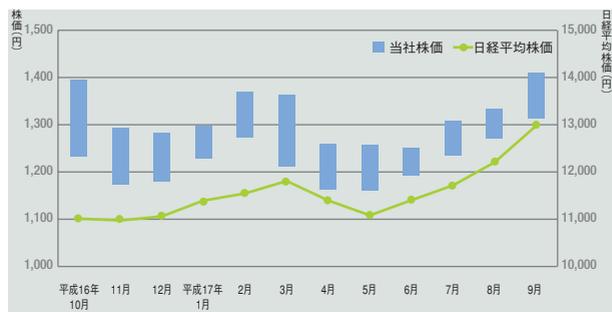
株式分布状況(所有者別) (%)

- その他法人 68,647,000株 (59.69%)
- 外国法人等 20,381,700株 (17.72%)
- 金融機関 14,248,400株 (12.39%)
- 個人・その他 10,681,842株 (9.29%)
- 証券会社 1,041,058株 (0.91%)



株価の推移

(東京証券取引所)



決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	定時株主総会・利益配当金 3月31日
	中間配当を行う場合 9月30日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告掲載新聞	日本経済新聞

決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書の開示は、
当社ホームページ(<http://www.toppan-f.co.jp/>)に掲載しております。

- 株式名義書換
1. 名義書換代理人
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
 2. 同事務取扱場所
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
【連絡先】〒171-8508
東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話(0120)707-696(フリーダイヤル)

〈下記の用紙をご請求される方へ〉

名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490をご利用ください。
24時間承っております。

- *住所変更用紙
- *単元未満株式買取請求書用紙
- *単元未満株式買増請求書用紙
- *相続手続依頼書用紙
- *配当金振込指定書用紙(銀行・郵便局)

3. 同取次所
三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

1単元の株式の数 100株

上場証券取引所 東京



トッパン・フォームズ株式会社

本店 〒105-8311 東京都港区東新橋一丁目7番3号
<http://www.toppan-f.co.jp/>